さがしてみよう！ キャラクターたちが本のうしろにかくれているよ。わかるかな？

みつかるかな？ ワクワク ドキドキ

ー家庭読書の日 ブックリストー

5・6年生向け



『きいろいバス』

ローレン・ロング／作
林木林／訳
あすなろ書房

子どもたちをのせるピカピカの黄色いスクールバス。やがてバスは役目を終え、再び輝ける場所を見つけました。たいせつな場所からたいせつな場所へと運ぶことはできなくなっても、乗り込んでもらえることでバスはよろこびでいっぱいになりました。
バスが新しい場所へ移動しながら変わっていく姿や、取り巻く世界がどんなふうに変わっていくのかに注目して読んでみてください。色彩の美しさにも魅了されます。

この本がある図書館：
水 土 賀 南 信

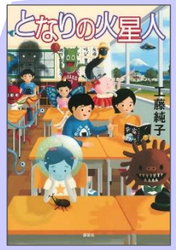


『子どもお悩み相談会』

角田光代・高野秀行ほか／著
中央公論新社

「悩みはありますか？」と聞かれても、人には話せなかったりするものです。この本では「すぐクヨクヨしちゃいます」「いつか僕も、おっさんになっちゃう？」「いつも探し物をしています」など、小さな悩みにスポットを当てて「悩みの達人」でもある7人の作家が「こう考えたら楽しいかも」とアイデアを提案します。フフッと楽しい迷回答たちに、読めばきっと心が軽くなるはず！？

この本がある図書館：水 土 賀 南 信



『となりの火星人』

工藤純子／著
講談社

空気が読めない、感情をコントロールできない、成長がゆっくり、突然パニックになるなど不器用に生きる子どもたちのお話。自分は人とは違う、他の人と同じようにできないと考えてしまう事って誰にでもあるものです。困った子ではなく「困っている子」という言葉が胸に刺さります。みんな違って当たり前。そのままでいいんだよと背中を押してくれる本です。

この本がある図書館：
水 南 信



『バベルの教室』

乾ルカ／著
PHP研究所

舞台は学級崩壊している6年1組。「おまえたちにバベルの呪いをかける！」担任の先生が宣言した瞬間から、お互いの言葉が全く通じなくなってしまった24人の生徒たち。呪いが解かれる条件はただ一つ。クラス全員で「十二の共通語」を見つけること。タイムリミットもせまりハラハラする展開の中で物語は問う。あなたにとって「言葉」とは何ですか？巻末には記号解読表付き。挑戦してみて。

この本がある図書館：
水 土 賀 南 信



『モノ・ジョーンズとからくり本屋』

シルヴィア・ビショップ／作　平澤朋子／絵
三辺律子／訳　フレーベル館

幼いころ置き去りにされた本屋で育てられた少女・モノは、本のにおいや手ざわりが大好き。けれど11歳になった今も字が読めないことを育ててくれた母と兄に秘密にしています。一家は有名なからくり本屋をゆずり受けることになり大喜びしますが、あやしい男に本屋も財産もうばわれてしまい……。得意の観察力で立ち向かうモノの勇気にハラハラドキドキ！家族とのきずなも感じるお話です。

この本がある図書館：水 信



『ぼくに友だちがいない理由』

小林史人／作　kigimura／絵
さ・え・ら書房

育人は、一人が好きな小学5年の男の子。友だちなんか要らない！なのに、幼なじみで、暴れん坊のマコちゃんやマイペースのさとるに振り回され、次から次へとトラブルの中心に引き込まれます。言いたい事も言わず、表面だけでいい顔をしていた育人。そのままでいいのか？本当の友だちって、自分ってなんだろう？自分の殻を破ってみようよ。きっと、違う世界が見えてくるよ！

この本がある図書館：
土 賀 南 信



『日本史の詰んだ人図鑑』

本郷和人／監修

サンクチュアリ出版

大ピンチ（詰んだ）から大逆転した 47人の偉人たちのエピソードが紹介されています。留学先でしらないうちに奴隷にされていたり、ありえない名前に改名させられてしまったり。でも、かれらはそこで終わらなかった！わらえて、学べるエピソードがいっぱい！歴史好きなひとはもちろん、あまり興味がないひとも楽しめる一冊です。

この本がある図書館：

水 土 賀 南 信



『どうやってできたの？日本の変な地形』

松本穂高／監修

かもがわ出版

日本には「変」な地形がたくさんあることを知っていますか？東京タワーより高い滝、奇怪な巨石、地下に広がる宮殿のような鍾乳洞… なぜこんな地形ができたのか、その地域の地理・歴史や自然の成り立ち、そこに生きる人々の暮らしなどを美しい写真とともに紹介します。みんなの住む地域でも、変な地形をさがしてみよう！

この本がある図書館：

水 土 賀 南 信



『新語・流行語を追え！』

田中牧郎／監修

小学館

「ニッポン」という言葉は江戸時代「かっこいい」の意味を表す流行語だった！

この本では、「イカす」「しょうゆ顔」「インスタ映え」など昔々から令和の時代まで、人々が生み出してきた新語・流行語がたくさん紹介されています。テストに出ることも、人生に大きな影響をあたえることもないかもしれませんが、言葉って面白い！と感じられる1冊です。

この本がある図書館：

土 南 信



『失敗しない整理整とん』

中村佳子／監修

ポプラ社

整理整とんの仕方には、人の好みや理想によって様々な方法があります。この本では、机の上にどんなものを置きたいか、引き出しの中の物の仕わけ方などについて、自分の性格・タイプにあった方法が紹介されています。リビング、クローゼットをはじめ、家のあらゆるものが、すっきり片づいていきます。家族みんなで楽しんで、実践してみましょう。

この本がある図書館：

水 土 賀 南 信



『なぜ、穴を見つけるとのぞきたくなるの？』

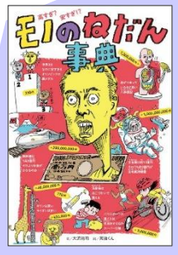
石川幹人／著

朝日新聞出版

「虹のふもとには行けないの？」「どうして、おまじないを信じたくなるの？」など、まわりのおとながはっきりと答えてくれない50の質問にたいして、テレビ番組『チコちゃんに叱られる』に出ている石川先生がすっきりと答えてくれました。ふしぎの理由を知ることで、新しい発見があり、もっと「なぜ？」について考えたくなる本です。

この本がある図書館：

水 土 賀 南 信



『モノのねだん事典』

大澤裕司／文

死後くん／絵

ポプラ社

さまざまな「モノ」の値段にまつわる面白知識を、気軽に楽しめる雑学読み物。例えば「パンダは買えないがコアラはただ」？パンダは1億円で1年間レンタル、コアラはタダで日本に迎えられるが餌代に年間3600万円。1円硬貨の原価は2～3円で赤字？モノのねだんがどうやって決まるのか、その秘密をこの本が解き明かしてくれますよ。

この本がある図書館：

土 賀 南 信



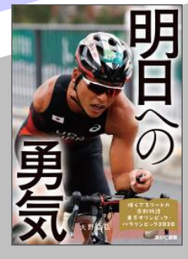
『楽しく学べる！マンガ交通安全』

内山有子／監修

スタジオタッククリエイティブ

マンガで楽しく分かりやすく読める交通安全の本です。横断歩道の渡り方や自転車の乗り方、道路での飛び出し防止など、毎日の生活で大切なルールをやさしく学べます。「事故ってなぜ起こるのか？」を知ることで自分の身を守る力を身につけ、毎日の安全を考えるきっかけとなる1冊です。ぜひ手に取ってみてください。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信



『明日への勇気』

大野益弘／監修

あかね書房

表紙を飾るのは、2020年東京パラリンピックで銀メダルに輝いた甲賀市出身の宇田秀生選手！小学生のころからサッカー少年だった宇田さんが、事故で右腕を失い、たくさんの努力を積み重ね、トライアスロンのトップ選手になるまでの物語。困難に立ち向かいチャレンジする姿はめちゃくちゃカッコよくて、自分もがんばろうって思えるよ。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信

このリストは、甲賀市の学校司書と図書館司書が一緒に作りました。